

## 平成28年度事業報告書（案）

### I 教誨師研修会関係

#### 1 第51回教誨師中央研修会（JKA競輪補助事業）

- (1) 日 時 平成28年8月30日（火）～31日（水）
- (2) 場 所 東京都千代田区 法務省地下大会議室
- (3) 参加者 教誨師 101名 矯正施設関係者 5名 その他関係者 3名  
計 109名

#### (4) 目 的

研修会の目的及び対象者は、刑事施設に所属している教誨師を対象に、矯正行政の施策や方向性並びに矯正施設の収容動向等を理解し、また、教誨の在り方等について研究討議を行い、持って教誨実施に必要な広い知識や技能の習得を図り、教誨活動の向上に資することを目的として実施した。

#### (5) 講 演

法務省矯正局成人矯正課長 松村 憲一氏

「矯正の現状」～薬物依存離脱指導の新展開～

「日本ダルク本部」代表、NPO法人「アパリ」

理事長 近藤 恒夫氏

「薬物依存者の孤立化」

府中刑務所教育専門官 谷澤 正次氏

「人のちから」

#### (6) 分科会（10班編成による班別討議）

テーマ 「薬物事犯者に対する教誨について」

#### (7) 全体会 班別討議の結果について各班代表者による発表

#### (8) 成 果

今年度の中央研修会研修参加者から総合評価として、研修テーマ、講演内容及び研修日程（1泊2日）等は適切であったと評価を受けた。

矯正施設に収容されている薬物事犯者の数は多く、教誨活動を行う上で教誨の対象者になる可能性が高いことから、薬物事犯者が抱えている特有な心の悩みや精神状況等について、講演を拝聴して多くの情報を得ることができた。

また、刑事施設に勤務している職員から刑事施設における改善更生プログラムの取組み等についての発表があり、更生意欲の喚起及び社会生活

に適應できるための能力を向上させ、再犯、再非行防止のために様々な教育や指導が行われていることが理解できた。

分科会では、全国から集まった研修者が所属する施設の教誨活動状況や特色等について情報交換を行うとともに、薬物事犯者に対する教誨をどのように行っていくべきかについて討議することができ、有意義な研修会であった。

今後の課題として、所属する矯正施設側と情報交換を密に行い、施設における処遇との連携を取っていく必要があることの見解が多く出されており検討を要する点として挙げられる。今年度の中央研修会研修参加者から総合評価として、研修テーマ、講演内容及び研修日程（1泊2日）等は適切であったと評価を受けた。

## 2 第52回札幌矯正管区教誨師研修大会（JKA補助事業）

(1) 日 時 平成28年6月7日(火)～8日(水)

(2) 場 所 旭川市 旭川グランドホテル 3階「彩雲の間」

(3) 参加者 教誨師 54名 矯正施設関係者 36名 その他関係者 8名  
計 98名

(4) 目 的

幾多の先人が教誨の現場で、悩み模索し受刑者に向き合ってきた。受刑者に寄り添い続ける人の体験を通して、今一度我々の活動を振り返る機縁としたい。

(5) 主 題 「希望へ！」

副 題 「人と生まれたよろこびを育む教誨をめざして」

(6) 記念講演

札幌刑務所福祉専門官

武内 千保 氏

「出会いに生かされて—高齢者、障害者支援の中から感じたこと—」

(7) 研究発表

旭川刑務所所属教誨師

釋 英 義

いのちに合掌～すべての人に仏を見る」

帯広刑務所・帯広少年院所属教誨師

桃 井 信 之

「毎回手探りの教誨活動」

月形学園所属教誨師

鶴 原 憲 秀

「教誨のあり方」

(8) 成 果

平成24年7月に犯罪対策閣僚会議において「再犯防止に向けた総合対策」が策定され、また、平成25年12月には、『『世界一安全な日本』創造戦略』が閣議決定されるなど、現在、国を挙げて犯罪や非行をさらに減少させ、国民の治安に対する信頼感の醸成に向けた取組みを推進している。

これを受けて、各矯正施設においても受刑者や非行少年の再犯・再非行防止のために、更生意欲の喚起と社会生活に適應する能力の育成を図るべく、様々な教育・指導が展開されているが、その対象となる彼らが自己を見つめ直し、自ら改善しようとする意識と前向きな姿勢を持ち合わせてこそ、教育・指導がはじめて効果的で実効力のあるものとなることを確認することができた。

本研修大会において、研究主題「希望へ!」、副題「～人と生まれたよろこびを育む教誨をめざして～」で研修を実施した結果、被収容者がこれまでの自分を客観的に見つめ直し、自ら改善へと進むためには、宗教的な働きかけが効果的で重要な意味を持っていることを確認するとともに、教誨活動に関する具体的方策、内容や所属している施設における処遇との連携等、多くの課題があり、一朝一夕に具体化されるものではないことを再認識することができた。

教誨師がその役割を担うことは、矯正施設のみならず社会全体からの要請と言えるものであり、矯正教育・矯正処遇の根幹をなす部分とも言えるこの大きな課題について、社会からの負託に応えようとする各教誨師の積極的な姿勢が随所に見られた充実した内容の研修会であった。

### 3 第58回仙台矯正管区教誨師研修福島大会（JKA補助事業）

- (1) 日 時 平成28年10月13日(木)～14日(金)
- (2) 場 所 福島市 ザ・セレクトン福島
- (3) 参加者 教誨師90名 矯正施設関係者16名 その他関係者10名  
計116名

#### (4) 目 的

東北地方の教誨師が一堂に会し、矯正施設における被収容者の宗教による教化方策について研修・討議する。

#### (5) 主 題 「希望へ!」

#### (6) 基調講演

福島大学大学院教授 生島 浩 氏

「被収容者の視点に立った宗教教誨を考える」

(7) グループ討議

テーマ1 「被収容者は宗教教誨に何を求めているのか」

テーマ2 「教誨師として被収容者の心に刻みたいこと（ことば、作法等）」

(8) 全体会 グループ討議発表

(9) 成 果

今回の研修大会では、グループ討議を仙台矯正管区内で初めて取り入れて実施した。実施した結果、討議の際にいろいろな意見が出されるなど、新しい取組みとしては良好な反応であった。また、参加した者全員が意見を述べることができおり、今までの研修になかったことで、大いなる前進ができた。反省点としては、グループ討議の時間をもう少し確保する必要があったこと、成人矯正施設中心に話が進められ、少年矯正施設を担当する教誨師への配慮がやや不足していた。座長の力量不足があり、協力分担して進行を行う意義を感じた。

研修大会参加率があまり上がらなかったことから、研修大会の趣旨が各県教誨師会へ充分伝わらなかったことがうかがわれる。参加率を上げるには、事前に各県教誨会に詳細な説明を行う必要があったと思われた。参加した教誨師の中に障害者がいることを事前に把握することができておらず、配慮に欠けた面があった。

東日本大震災の関係で11年ぶりの福島県教誨師会の研修担当であったため、準備等で手間取ったりしたが、新しい試みを取り入れるなど実りある研修会が実施できた。

4 連盟創立60周年記念大会（第36回全国教誨師大会）（JKA補助事業）

(1) 日 時 平成28年9月6日（火）～7日（水）

(2) 場 所 東京都新宿区 京王プラザホテル

(3) 参加者 教誨師551名 矯正施設関係者76名 その他関係者64名  
計691名

(4) 目 的

矯正施設で教誨を通して見える被収容者の背後には、広く日本および世界を取り巻く根深い問題が横たわっていることは言うまでもない。すなわち「心の闇」、つまり人の心に巣食う暗黒が、社会を覆い、現代社会の姿を写しているのである。これは、現代社会に宗教心が希薄になっているものと考えられる。私たち教誨師は、宗教者として、今この「心の闇」の問題

に、救いの光を当てるために努力と研さんを重ねることを目的とする。

- (5) 主 題 「希望へ！」  
副 題 「生きぬく力の発見」
- (6) 基調講演  
講 師 法務省矯正局長 富山 聡 氏  
演 題 「矯正の現状」～矯正施設における再犯防止対策～
- (7) 記念講演Ⅰ  
講 師 杏林大学医学部名誉教授 佐藤 喜宣 氏  
演 題 「子ども虐待防止と臨床法医学」
- (8) 記念講演Ⅱ  
講 師 東京大学名誉教授 姜 尚中 氏  
演 題 「『二度生まれ』の人生」
- (9) 成 果

大会テーマである「希望へ！～生きぬく力の発見～」については、現代における社会背景を踏まえた問題に着目したものであり、大会参加者のほとんどから適切であったとの評価であった。各講演については、具体性に富んだ講演内容であり、また、専門性の高い見地から被収容者の問題について考える新たなきっかけとなった。

今回の大会は、全国教誨師連盟創立60周年記念大会であることから、全国から教誨師が一同に会して実施された大規模なものであったが、今後の教誨活動の弾みとなるものであり、研修の目的をおおむね達成することができた。

## 5 第60回名古屋矯正管区教誨師研修大会（JKA補助事業）

- (1) 日 時 平成28年6月21日（火）～22日（水）
- (2) 場 所 岐阜市 下呂温泉 水明館
- (3) 参加者 教誨師43名 矯正施設関係者37名 その他3名  
計83名

### (4) 目 的

矯正施設の被収容者に対して宗教教誨を行う教誨師のうち、経験年数の永い教誨師を対象に今までの教誨活動の中で、思い出深い教誨、とても悩んだ教誨、とても微笑ましい教誨を発表いただき、記録誌にて後進者の教誨の一助にならんことを願い、開催する。

- (5) 主 題 「希望へ！」  
副 題 「温故知新」
- (6) 基調講演

講師 名古屋矯正管区長 伊藤 広史氏  
演題 「矯正における再犯・再非行防止の取組」

(7) 意見発表会

岡崎医療刑務所所属教誨師 「私の教誨」	鈴木 超淳
三重刑務所所属教誨師 「初心に帰れ」	星川 佳信
福井刑務所所属教誨師 「心のふれあいを意識して」	多田 文樹
金沢刑務所所属教誨師 「教誨の思い出」	延村 茂憲
富山刑務所所属教誨師 「受刑者Aの温故知新」	公文名 眞
岐阜刑務所所属教誨師 「思い出の教誨」	岩水 龍峰

(9) 成 果

大会のメインテーマを「希望へ!」、サブテーマを、「温故知新」とし、研修大会の対象者を名古屋矯正管区教誨師連盟に所属して教誨活動年数15年以上の者を限定して研修を実施した。

研修初日、名古屋矯正管区長による基調講演では、近年収容率は減少傾向にあるものの、再入所率・再入院率は横ばい状態であることから、再犯防止対策の推進が求められていることから、より効果的な処遇のあり方を検討し、就労支援及び福祉的支援に力を入れていること等を学ぶことができた。

また、研究会では、各県教誨師会代表者から今までの経験や実績などを踏まえた発表が行われた結果、参加した研修員個々に新たな発見があり、自己の教誨を見つめ直し、今後の教誨師活動の方向性を見出すことができたなど、大変有意義な研修であった。

6 第64回大阪矯正管区教誨師研修大会

- (1) 日 時 平成28年11月18日(金)
- (2) 場 所 大津市 琵琶湖ホテル
- (3) 参加者 教誨師132名 矯正施設関係者80名 その他6名  
計218名
- (4) 主 題 「希望へ!」

副 題 「人は出遭いによって輝く。」

(5) 講演

龍谷大学名誉教授 浅田 正博 氏

「生かされる命を見つめて」

(6) 成 果

本研修大会において新たな試みとして、班別座談会を取り入れた。その効果として、多くの参加者が座談会の場において発言することができ、他の教誨師の経験などを共有し合える良い機会となった。

龍谷大学名誉教授である浅田正博氏による「生かされる命を見つめて」という講演では、学生の自殺や墮胎に関する意識を通して、命の尊さについてお話をいただき、若い世代の生死観やどのような出遇いが人としての生きる道を見出すことにつながるかについて、研修大会に参加した教誨師たちが意識を共有することができた。

班別座談会では、講演をテーマにした話し合いが行われ、その話し合われた内容について班別に発表が行われた。講演者の浅田正博氏から班別発表後に講評をいただくなど、一貫性のある研修を実施することができた。

7 第 42 回広島矯正管区教誨師研修会（JKA補助事業）

(1) 日 時 平成 28 年 6 月 20 日（月）～21 日（火）

(2) 場 所 岡山市 リーセントカルチャーホテル

(3) 参 加 者 教誨師 66 名 矯正施設関係者 32 名 その他 4 名  
計 102 名

(4) 目 的

肯定的な未来の創造と、心豊かで、よりよき人生を共に考えることにより、心の様相が育まれる教誨活動に資することを目的とする。

(5) 主 題 「希望へ！」

副 題 「自分と未来は変えられる」

(6) 基調講演

広島矯正管区長

佐方 雅典 氏

「矯正の現状」

(7) 講 演

NPO法人公共の交通ラクダ会長

岡 将 男 氏

「吉備邪馬台国と桃太郎の知恵」

NPO法人おかやま犯罪被害者サポートファミリーズ

理事 黒住 昭子 氏  
理事 市原 千代子 氏

「犯罪被害者支援組織の活動内容と現状及び

被害後を生きるとは一当事者の思い―」

## (8) 成 果

平成24年7月に犯罪対策閣僚会議において「再犯防止に向けた総合対策」が策定され、また、平成25年12月には、『『世界一安全な日本』創造戦略』が閣議決定され、現在、安全、安心な社会の実現という大きな目標のため、国を挙げて、再犯防止施策に一丸となって取り組んでおり、その中で矯正の果たす役割は、非常に大きくなっていることを再認識することができた。

また、刑事施設においては、本年6月1日から施行された「刑の一部執行猶予制度」に対応し、出所後の社会内処遇への円滑な移行を目指した施設内処遇を展開することが可能となり、少年施設においては、昨年6月に施行された新たな少年院法、少年鑑別所法の下、再非行防止施策の充実はもとより、社会に開かれ、信頼の輪に支えられた施設を目指すことが求められている。これらを受けて、矯正施設においても、受刑者や非行少年の再犯・再非行の防止のために更生と意欲の喚起と社会生活に対応する適応する能力の育成を図るべく、様々な教育・指導が実施されているが、その対象となる彼らが自己を見つめ直し、自ら希望をもって改善しようとする意識と行動を持ち合わせてこそ、効果的で実効力のあるものとなることを確認できた。

本研修大会においては、主題「希望へ!」、副題「自分と未来は変えられる」として研修が行われ被収容者が、これまでの自分を客観的に見つめ直し、自ら改善へと進むためにも、彼らの信教の自由を保障しつつ、宗教的な働きかけを行うことが効果的で重要な意味を持つことはいうまでもないが、その具体策、内容、他の教育・指導との連携等、課題も多く残されている。しかし、教誨師がその役割を担うことは矯正施設のみならず、社会全体からの要請ともいえるものであり、矯正教育の根幹をなす部分ともいえるこの問題について、社会からの負託に応えようとする各教誨師の積極的な姿勢が随所にみられるなど、充実した内容の研修大会であった。

## 8 平成28年度高松矯正管区教誨師研修会（JKA補助事業）

(1) 日 時 平成28年6月20日（月）

(2) 場 所 高松市 高松センタービル大ホール

(3) 参加者 教誨師30名 矯正施設関係者24名 計54名

(4) 目 的

矯正施設における宗教教誨の充実を図るために、比較的経験年数の少ない教誨師を対象として研修を行う。

(5) 主 題 「希望へ！」

副 題 「生きる力を育む教誨をめざして」

(6) 講 演

福岡県精神医療センター

佐藤 嘉孝 氏

「薬物依存症とその関わり方について」

(7) 実践発表会

「神様と共に育む教誨をめざして」

発表者 徳島刑務所所属教誨師 岩崎 道範

発表応援者 徳島刑務所統括矯正処遇官 中越 勉 氏

「心をみつめる」

発表者 高知刑務所所属教誨師 川崎 一洋

発表応援者 高知刑務所統括矯正処遇官 池西 幸則 氏

「対話を通して共に成長する」

発表者 丸亀少女の家所属教誨師 岡田 真希

発表応援者 丸亀少女の家統括専門官 高澤千恵子 氏

(8) 成 果

佐藤嘉孝氏による講演は、薬物依存症について理解を深めることができ、今後の宗教教誨活動にとって有益な内容であった。また、実践発表は、教誨師になって数年の経験の少ない教誨師3名が自らの教誨実践について発表を行った。発表者がこれまでの教誨実践をとおしての経験や工夫している点などをテーマに基づいて発表が行われた結果、経験豊かな教誨師にとっても、自己の宗教教誨を見つめ直すよい機会となり、効果的な研修を実施することができた。

## 9 第20回福岡矯正管区教誨師福岡施設研修会（JKA補助事業）

(1) 日 時 平成28年11月8日（火）～9日（水）

(2) 場 所 福岡市 福岡刑務所 ホテル日航福岡

(3) 参加者 教誨師100名 矯正施設関係者10名 その他4名 計114名

(4) 目 的

私たちは、不安の真っ只中に立っています。

被収容者には、過去に犯した罪や非行から来る不安、現在の施設での生活における不安、収容中の社会の変化に伴うであろう将来が見えない不安、社会復帰への不安。

教誨師は、被収容者の不安に応えているのか？話の内容は理解されているのか？自己満足に陥っていないのか？

矯正施設職員は、再犯・再非行を防ぐ、改善更生、及び社会復帰に向けた、将来を見据えた教育指導が十分にできているのか？等々、不安が溢れています。

私たちは、不安（苦悩）と真摯に対峙しているのか？不安の中に、希望は見いだせないのか？解放に向けて・・・・・・・・。

不安が希望を紡ぎ出す。不安の中にこそ希望があると言えます。「無駄なことは一つもない。」そういう世界を教誨の中に求めて、今、一步を踏み出しましょう。

(5) 主 題 「希望へ！」

副 題 「不安からの解放に繋がる教誨」

(6) 講 演

松本サリン事件被害者 河野 義行 氏

(7) 成 果

研修会については、刑務所施設の見学が実施され、被収容者が施設内でどのように生活をしているかについて理解を深めることができた。ただし、施設が広いことから詳細に見学することができず残念であった面があった。

研修参加者から研修テーマ及び研修内容について適切であったとの満足度の高い研修が実施できた。本研修会に参加した教誨師については、充実した教誨活動が実践されることが期待できる。研修会については、今後も教誨師の指導研さんのために継続的に開催する必要がある。

## II 連絡調整関係

### 1 宗団代表者との連絡協議会（京都部会）

(1) 日 時 平成28年7月4日(月)午後2時～午後4時30分

(2) 場 所 京都市 西本願寺 聞法会館3階研修室1

(3) 出席者 総 数 35名

神社本庁	大本	金光教
天台宗	高野山真言宗	浄土宗

真宗大谷派 融通念仏宗 臨濟宗妙心寺派  
曹洞宗 日蓮宗 立正佼成会  
天理教 日本基督教団 ウェスレアン・ホーリネス教団  
浄土真宗本願寺派（ご門主、霍野総務 森田社会部長）  
教誨師連盟関係（17名）

(4) 議 事

ア 報告事項

- 平成 27 年度事業報告及び収支決算報告
- 平成 28 年度事業計画及び収支予算について
- 第 51 回教誨師中央研修会について
- 平成 27 年度宗団賛助金収納状況について
- 連盟創立 60 周年記念大会の寄附金入金状況について

イ 協議事項

- 協議会の名称について
- その他当面の諸問題について

ウ 教宗団内における研修状況等について

2 宗団代表者との連絡協議会（東京部会）

(1) 日 時 平成 28 年 10 月 18 日(火) 午後 2 時 00 分～午後 4 時 30 分

(2) 場 所 東京都大田区池上 日蓮宗宗務院 第 4 会議室

(3) 出席者 総 数 24 名

日蓮宗（3名） 曹洞宗（2名） 浄土宗  
浄土真宗本願寺派 真宗大谷派 法華宗（本門流）  
立正佼成会（2名） 天理教 カトリック中央協議会  
日本基督教団 ウェスレアン・ホーリネス教団  
全国教誨師連盟（9名）

(4) 話 題

- ア 事業報告について
- イ 全国教誨師連盟の動向について
- ウ 内閣府立入検査の結果について
- エ 連盟創立 60 周年記念大会の教宗団寄附金について
- オ 各教宗団の研修状況について
- カ その他

3 第 4 回法務省矯正局との意見交換会

(1) 日 時 平成 28 年 12 月 14 日(金) 午後 4 時 30 分～午後 6 時 00 分

(2) 場 所 法務省矯正局（14階）会議室

(3) 出席者 総 数 17 名

富山矯正局長	名取官房審議官	
松村成人矯正課長	木村少年矯正課長	
岸成人矯正課企画官	岩浪少年矯正課企画官	
畠山成人矯正課補佐官	藤原少年矯正課補佐官	
滝山成人矯正課事務官		
山田参与	平野参与	舎奈田副理事長
中川副理事長	石川副理事長	山根副理事長
龍田事務長	佐藤主事	

(4) 協議事項

- ア 大臣表彰等の選考に際し研修会参加状況を加味することについて
- イ 少年院における教誨について
- ウ 教誨の在り方についての研究について

Ⅲ 顕彰関係

1 生存者叙勲（春：5名 秋：5名）

春	池田 玄德	日蓮宗	栃木刑務所
	島田 智肇	日蓮宗	久里浜少年院
	鈴木 國弘	カトリック	川越少年刑務所
	張崎 融	真宗大谷派	山形刑務所
	横田 宗忠	臨濟宗妙心寺派	高松刑務所
秋	山田 義俊	浄土真宗本願寺派	愛光女子学園
	遠藤 了義	日蓮宗	千葉刑務所
	時田 克男	神社本庁	市原刑務所・市原学園
	長尾 恵證	高野山真言宗	高松刑務所
	ウォルター・M・マクセイ	キリストの教会	鹿児島刑務所

※ 山田義俊師は瑞宝小綬賞、他は瑞宝双光章

2 藍綬褒章（春：7名 秋：8名）

春	大北 哲也	高野山真言宗	松江刑務所
	小林 明雄	法華宗（陣門流）	新潟刑務所
	津守 弘範	真言宗智山派	多摩少年院
	中野 富士夫	バプテスト（単立）	奈良少年刑務所・奈良少年院
	西村 徹也	臨濟宗妙心寺派	徳島刑務所

	前田 建司	大本	美保学園
	松本 武三	カトリック	大阪拘置所・大阪刑務所
秋	井上 弘昭	真言宗大覚寺派	播磨学園
	長田 善生	浄土宗	喜連川少年院
	加藤 泰裕	臨濟宗妙心寺宗	八街少年院
	小林 健	金光教	加古川学園
	阪口 隆俊	高野山真言宗	和歌山刑務所
	高山 元延	曹洞宗	青森刑務所
	仲田 周雄	天台宗	茨城農芸学院
	橋本 信之	浄土宗	広島刑務所

### 3 総裁表彰（26名）

	山谷 敬	神社本庁	青森刑務所
	井澤 隆明	浄土宗	山形刑務所
	大喜多正洋	保守バプテスト同盟	茨城農芸学院
	橋立 秀文	曹洞宗	栃木刑務所
	池田 賢勇	真宗大谷派	喜連川社会復帰促進センター
	鈴木 國弘	カトリック	川越少年刑務所
	時田 克男	神社本庁	市原刑務所・市原学園
	加藤 泰裕	臨濟宗妙心寺派	八街少年院
	田代 弘興	真言宗豊山派	府中刑務所
	友田 達祐	浄土宗	静岡刑務所
	森 恵司	日蓮宗	福井刑務所
	堀 智仙	日蓮宗	笠松刑務所
	石原 和久	真宗大谷派	名古屋刑務所
	榎 研治	曹洞宗	名古屋刑務所
	鈴木源一郎	神社本庁	豊橋刑務支所
	治田 義行	真宗大谷派	滋賀刑務所
	小西 正弘	天理教	京都刑務所
	寶來 正彦	神社本庁	大阪刑務所・大阪拘置所
	奈良 重雄	臨濟宗妙心寺派	神戸刑務所
	植村 悦雄	天理教	奈良少年刑務所・奈良少年院
	上杉 宣章	真宗大谷派	鳥取刑務所
	橋本 信之	浄土宗	広島刑務所
	小川 恵眞	浄土真宗本願寺派	山口刑務所
	大庭 力	キリストの教会	福岡刑務所・福岡拘置所

三坂 恵人	日蓮宗	熊本刑務所
田中 瑞修	融通念佛宗	奈良少年刑務所

4 法務大臣感謝状（25名）

大道 光肇	曹洞宗	釧路刑務支所
三ツ井久良蔵	天理教	秋田刑務所
中川 文隆	神社本庁	府中刑務所
田所 賢二	日本バプテスト同盟	松本少年刑務所
唐澤 傳	日本同盟基督教団	茨城農芸学院
田村 晃洋	真宗大谷派	水戸刑務所
伊藤 佳通	日蓮宗	静岡刑務所
岩田 光哲	浄土真宗本願寺派	川越少年刑務所
町田 明夫	天理教	多摩少年院
澤 玄浄	浄土宗	岐阜刑務所
田尻 和光	臨濟宗妙心寺派	笠松刑務所
辻 良尚	浄土真宗本願寺派	名古屋刑務所
畔柳 俊雄	金光教	名古屋刑務所
荒山 信	真宗大谷派	名古屋刑務所
前阪 良憲	天台眞盛宗	滋賀刑務所
村山 雅雄	曹洞宗	大阪刑務所
田中 瑞修	融通念佛宗	奈良少年刑務所
大山 恵	日本基督教団	大阪拘置所
谷川 弘顯	浄土真宗本願寺派	神戸刑務所
浦地 洪一	日本聖公会	京都刑務所
月下 美孝	日本基督教団	広島刑務所
佐藤 正立	金光教	広島刑務所
越智 憲明	浄土真宗本願寺派	松山刑務所
三坂 恵人	日蓮宗	熊本刑務所
古賀 祐法	真宗大谷派	福岡刑務所

5 日本宗教連盟理事長感謝状（12名）

宮本 正尊	真宗大谷派	北海少年院・紫明女子学院
山口 顯辰	日蓮宗	秋田刑務所
近藤 哲城	浄土真宗本願寺派	川越少年刑務所
吉田 健彦	神社本庁	喜連川少年院
廣瀬 哲久	曹洞宗	富山刑務所

大窪 順子	カトリック	瀬戸少年院
中野 満輝	金光教	京都刑務所
池田 元博	立正佼成会	岡山刑務所
廣安 俊道	真言宗大覚寺派	尾道刑務支所
土屋 栄巖	真言宗豊山派	松山刑務所
難波 光裕	浄土真宗本願寺派	福岡刑務所・福岡拘置所
名幸 俊海	高野山真言宗	沖縄刑務所

#### IV 物故者 (10名)

黒木 源章	日蓮宗	宮崎刑務所	4月27日逝去
中屋 隆介	日蓮宗	金沢刑務所	6月8日逝去
野村 法慎	日蓮正宗	前橋家務所・赤城少年院・榛名女子学園	7月11日逝去
伊藤 龍昭	浄土宗	山形刑務所	7月12日逝去
迫野 忠次	天理教	山口刑務所	10月6日逝去
小保方教圓	天台宗	喜連川少年院 喜連川社会復帰促進センター	10月30日逝去
渡邊 賢雄	真宗大谷派	岡崎拘置支所・名古屋刑務所	12月17日逝去
小山 健英	天台宗	長野刑務所	1月1日逝去
加瀬 堯正	真言宗智山派	八街少年院	3月4日逝去
寺林 惇	真宗大谷派	大阪拘置所	3月15日逝去

#### V 各種刊行物等の発行

1 教誨師連盟だより	51号	平成28年7月1日発行
2 教誨師連盟だより	52号	平成28年12月1日発行
3 「教誨」	51号	平成29年3月27日発行

#### VI 公益事業関係会議

##### 教誨師中央研修会関係

##### 1 企画委員会

- (1) 日時 平成28年4月22日(金)午後2時～同5時
- (2) 場所 東京都千代田区 矯正局14階会議室
- (3) 出席者 総数 14名
- (4) 議事 第51回教誨師中央研修会の目的・同対象者・研修カリキュラム

## 2 企画実行委員会

- (1) 日 時 平成 28 年 7 月 22 日（金）午後 2 時 00 分～同 5 時 15 分
- (2) 場 所 東京都千代田区 矯正局 1 4 階会議室
- (3) 出席者 総 数 2 4 名
- (4) 議 事 第 5 1 回教誨師中央研修会の役割分担

## 3 評価委員会

- (1) 日 時 平成 28 年 9 月 2 日（金）午後 3 時～同 4 時 4 5 分
- (2) 場 所 東京都千代田区 法務省 1 階共用応接室
- (3) 出席者 総 数 5 名
- (4) 議 事 第 5 1 回教誨師中央研修会の第一回目評価

## 4 企画委員会

- (1) 日 時 平成 28 年 10 月 25 日（火）午後 2 時～同 4 時 4 5 分
- (2) 場 所 東京都中野区 矯正会館 4 階第一会議室
- (3) 出席者 総 数 8 名
- (4) 議 事 第 5 2 回教誨師中央研修会の計画について

## 教誨マニュアル作成準備委員会

	回数	日程	人数		回数	日程	人数
1	第25回	H28.4.1 金	13 人	19	第43回	H28.12.29 木	6 人
2	第26回	H28.5.9 月	13 人	20	第44回	H29.1.11 水	5 人
3	第27回	H28.5.31 火	15 人	21	第45回	H29.1.18 水	13 人
4	第28回	H28.6.22 水	4 人	22	第46回	H29.1.26 木	4 人
5	第29回	H28.7.5 火	11 人	23	第47回	H29.1.30 月	7 人
6	第30回	H28.7.28 木	4 人	24	第48回	H29.2.2 木	4 人
7	第31回	H28.8.19 金	6 人	25	第49回	H29.2.10 金	5 人
8	第32回	H28.9.8 木	5 人	26	第50回	H29.2.13 月	6 人
9	第33回	H28.9.29 木	6 人	27	第51回	H29.2.15 水	5 人
10	第34回	H28.10.13 木	7 人	28	第52回	H29.2.22 水	6 人
11	第35回	H28.11.7 月	6 人	29	第53回	H29.2.27 月	5 人
12	第36回	H28.11.14 月	9 人	30	第54回	H29.3.2 木	5 人
13	第37回	H28.11.17 木	4 人	31	第55回	H29.3.3 金	13 人
14	第38回	H28.11.29 火	6 人	32	第56回	H29.3.13 月	5 人
15	第39回	H28.12.12 月	6 人	33	第57回	H29.3.22 水	5 人
16	第40回	H28.12.16 金	6 人	34	第58回	H29.3.24 金	4 人
17	第41回	H28.12.20 火	6 人	35	第59回	H29.3.29 水	11 人
18	第42回	H28.12.26 月	6 人				

# 平成28年度管理業務関係報告書

## I 会議関係

### 主要会議

#### 1 第15回理事会（常会）

- (1) 日 時 平成28年5月13日(金)午後2時00分～午後5時05分
- (2) 場 所 東京都中野区新井 矯正会館4階 第一会議室
- (3) 出席者 総 数 18名  
出席理事数 12名 欠席理事数 2名  
その他の出席者 監事 2名 参与 1名  
事務局 2名 オブザーバー（矯正局）1名

#### (3) 議 事

- 第1号議案 『平成27年度事業報告及び附属明細書の承認』の件  
(承認事項)
- 第2号議案 『平成27年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び附属明細書並びに財産目録の承認』の件（承認事項）
- 第3号議案 『評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等』の件  
(決議事項)
- 第4号議案 『平成28年度予算の補正に関する事項』の件（決議事項）
- 第5号議案 『定款及び諸規定の一部改正・制定』の件（決議事項）
- 第6号議案 『外部理事・評議員候補者名簿の承認』の件（決議事項）

#### (4) 報告事項

- ① 平成27年度の寄附募金結果について
- ② JKAからの補助金について
- ③ 個人賛助金検討委員会の状況について
- ④ 広報委員会の状況について
- ⑤ その他

#### 2 第6回評議員会

- (1) 日 時 平成28年6月10日(金)午後2時00分～午後6時15分
- (2) 場 所 東京都中央区霞が関 矯正局第一会議室（20階）
- (3) 出席者 総 数 26名  
出席評議員数 15名 欠席評議員数 12名  
その他の出席者 副理事長 4名 監事 2名  
参 与 2名 事務局 2名

オブザーバー（矯正局） 1名

(4) 議 事

第1号議案 『平成27年度事業報告及び附属明細書の承認』の件  
(決議事項)

第2号議案 『平成27年度計算書類及び附属明細書並びに財産目録  
の承認』の件 (決議事項)

第3号議案 『役員等の選任』の件 (決議事項)

第4号議案 『定款の一部改正』の件 (決議事項)

(5) 報告事項

① 平成28年度事業計画・予算について

② 諸規程の一部改正・制定について

③ 中央研修会について

④ JKAからの補助金について

⑤ 平成27年度管理業務関係報告について

3 第16回理事会（臨時会）

(1) 日 時 平成28年6月16日(金)午後2時00分～午後3時45分

(2) 場 所 東京都中野区新井 矯正会館4階 第一会議室

(3) 出席者 総 数 18名

出席理事数 14名 欠席理事数 2名

その他の出席者 監事 1名 参与 1名

事務局 2名

(5) 議 事

第1号議案 『代表理事たる理事長の選任』の件 (決議事項)

第2号議案 『執行理事たる副理事長の選任』の件 (決議事項)

(6) 報告事項

評議委員会の開催状況について

4 第17回理事会（臨時会）

(1) 日 時 平成28年7月4日(月)午前11時00分～午後0時30分

(2) 場 所 京都市 西本願寺聞法会館3階研修室3

(3) 出席者 総 数 20名

出席理事数 13名 欠席理事数 3名

その他の出席者 監事 1名 参与 2名

事務局 2名

西本願寺 大谷前門（総裁） 石上総長

霍野総務

森田社会部長

(4) 議 事

第1号議案 『教誨師委嘱解嘱規程の一部改正』の件

(5) 報告事項

全国大会について

5 第18回理事会（臨時会）

(1) 日 時 平成29年1月26日（金）午後1時00分～午後3時00分

(2) 場 所 東京都中野区新井 矯正会館4階 第一会議室

(3) 出席者 総 数 18名

出席理事数 14名 欠席理事数 2名

その他の出席者 大谷総裁 監事 2名

参与 2名 事務局 2名

同席者 霍野西本願寺総務 森田西本願寺社会部長  
理事長奥様

(4) 議 事

第1号議案 『総裁様からの申し出事項』の件

6 第19回理事会（常会）

(1) 日 時 平成29年3月3日（火）午後1時00分～午後4時10分

(2) 場 所 東京都千代田区霞が関 法務省20階第一会議室

(3) 出席者 総 数 29名

出席理事数 14名 欠席理事数 2名

その他の出席者 監事 2名 参 与 1名

事務局 2名

矯正局 富山局長以下10名

(4) 議 事

第1号議案 『代表理事たる理事長の選定』の件

第2号議案 『業務執行理事たる副理事長の選定』の件

第3号議案 『平成28年度事業計画書及び収支予算書の承認』の件

第4号議案 『賛助寄附金の募金活動』の件

(5) 報告事項（代表理事・業務執行理事からの業務報告）

○ 個人賛助金検討委員会の会議状況について

○ 教誨師マニュアル準備委員会に関する中間報告について

○ 教誨師研修全国大会・地方大会に関する報告

○ その他

その他の会議

## 1 監事会

- (1) 日 時 平成 28 年 4 月 19 日 (火) 午後 2 時～同 4 時
- (2) 場 所 東京都中野区新井 矯正会館 4 階 第一会議室
- (3) 出席者 総 数 7 名  
榎研治監事 竹岡郁雄監事 近藤理事長  
舎奈田・深山・石川副理事長 龍田事務長
- (4) 議 事  
平成 27 年度収支決算等及び業務の監査

## 2 総裁への業務報告

- (1) 日 時 平成 28 年 7 月 4 日 (月) 午前 10 時 00 分～同 10 時 30 分
- (2) 場 所 京都市 西本願寺
- (3) 出席者 総 数 7 名  
大谷総裁 山田参与 平野参与 舎奈田副理事長  
霍野西本願寺総務 森田西本願寺社会部長 龍田事務長
- (4) 主な報告事項
- ・平成 28 年度事業計画及び収支予算書について
  - ・平成 27 年度事業報告及び収支計算書について
  - ・全国教誨師連盟創立 60 周年記念大会について
  - ・内閣府立入検査について
  - ・理事・監事・評議員の改選について
  - ・第 51 回教誨師中央研修会について

## 3 顧問会議

- (1) 日 時 平成 29 年 1 月 26 日 (月) 午後 4 時 30 分～同 5 時 30 分
- (2) 場 所 東京都中央区 割烹 躍金楼
- (3) 出席者 総 数 9 名  
大谷総裁 山田参与 平野参与  
舎奈田副理事長 石川副理事長 中川副理事長  
山根副理事長 森田西本願寺社会部長 龍田事務長  
(顧問 2 名については、急遽欠席)
- (4) 議事
- ・全国教誨師連盟の動向報告
  - ・全国教誨師連盟の現状報告
  - ・全国教誨師連盟の今後の展望について
  - ・その他

#### 4 管区連盟事務局長会議

- (1) 日 時 平成 29 年 2 月 9 日 (木) 午後 2 時～同 4 時 10 分
- (2) 場 所 矯正会館 第二会議室
- (3) 出席者 総 数 15 名  
 平野参与 舎奈田副理事長 中川副理事長  
 石川副理事長 山根副理事長  
 札幌管区連盟 天野広輝 仙台管区連盟 徳力賢隆  
 東京管区連盟 竹岡郁雄 名古屋管区連盟 加藤通幸  
 大阪管区連盟 岩崎慶昭 広島管区連盟 高橋 哲  
 高松管区連盟 上野忠昭 福岡管区連盟 川崎文丸  
 事務局 龍田恒夫 佐藤 均

#### (4) 連絡・協議事項

- ・ 個人賛助金検討委員会の結果について
- ・ 全国教誨師連盟の役員等の交代事務手続きについて
- ・ 研修会の開催状況について
- ・ J K A の補助金について
- ・ 教誨師研修会テーマについて
- ・ その他  
     研修会関係費用について  
     会議等の日程について

#### 5 正・副理事長会議

	回数	日程		回数	日程
1	第29回	平成28年4月5日(火)	11	第39回	平成28年12月14日(水)
2	第30回	平成28年4月19日(火)	12	第40回	平成29年1月18日(水)
3	第31回	平成28年5月13日(金)	13	第41回	平成29年2月1日(水)
4	第32回	平成28年5月24日(火)	14	第42回	平成29年2月9日(木)
5	第33回	平成28年6月10日(金)	15	第43回	平成29年3月3日(金)
6	第34回	平成28年7月21日(木)	16	第44回	平成29年3月7日(火)
7	第35回	平成28年8月3日(水)			
8	第36回	平成28年9月26日(月)			
9	第37回	平成28年10月12日(水)			
10	第38回	平成28年11月28日(月)			

#### 6 個人賛助金検討委員会

- (1) 第 1 回 平成 27 年 10 月 6 日 (火) 出席者 19 名  
 個人賛助金にまつわる問題点の洗い出しを行った。

- ① 県等の後援会との関係について
- ② 募金活動のための教誨師の負担軽減について
- ③ 各研修会の在り方について
- ④ J K Aの補助金について
- ⑤ 活発な広報活動について

(2) 第2回 平成27年12月2日(水) 出席者 19名

第1回会議で出された問題点に関して議論がなされた。

- ① 賛助金を集める目的・意味を明確にし、個人賛助金が二重払いにならないようにすること。
- ② 教誨師の活動を一般社会に理解してもらえるような広報をすること。
- ③ 各管区・県研修会の在り方ややり方を見直してはどうか。
- ④ 募金活動が、各教誨師の負担にならないような方法を考える。

(3) 第3回 平成28年1月25日(月) 出席者 17名

個人賛助金にまつわる問題点の洗い出しを行った。

- ① 研修会費用を個人負担としてよいのではとの意見があったが、教誨師は普段から持ち出しが多いので、援助を受けても良いとの意見も出た。
- ② 教誨師の個人負担を軽減するための賛助金であるので、それを一般に理解を得られるよう勧める必要がある。
- ③ 教誨師研修は公益性があると認定されているので、募金することに問題はない。
- ④ 募金額を教誨師のノルマにはしない。
- ⑤ すべてを公益事業に使用するのではなく、管区で自由に使える部分もあった方がよい。

(4) 第4回 平成28年3月11日(金) 出席者 13名

管区研修会も予算を気にせずに計画できるようになればよい。

- ① 「全国教誨師連盟のごあんない」に寄付について明確に掲示する。
- ② 個人賛助金を寄付者が直接全教連へ振込み、領収書も全教連から寄付者へ直送するようにする。
- ③ 寄付は単年ではなく継続して寄付してもらえるよう働きかけるようにする。

(5) 第5回 平成28年4月25日(月) 出席者 13名

- ① 公益法人ということを明確にし、自分たち自身でやるという意識が大切である。
- ② 賛助金募金が軌道に乗ればJ K Aからの補助金を断る方向で検討する。
- ③ 公益財団法人の一員として教誨師の研修をしっかりと行い、良い教誨が行えるようにすることが社会還元となる。
- ④ 次回までに募集要領案を作成のこと。

(6) 第6回 平成28年5月24日(火) 出席者 12名

募集要領の内容について協議

- ① 募金目的に、矯正施設、被収容者についての説明を入れる。
- ② 「募金活動の流れ」を作成し、各教誨師に理解してもらう。
- ③ 振込用紙は、切取り式ではなく別添え式とする。
- ④ 「教誨」「教誨師」「全国教誨師連盟」の説明文を入れる。
- ⑤ 名称を「寄附賛助金」とする。

(7) 第7回 平成28年7月29日(金) 出席者 18名

最終会議とし、答申を出すことにした。

- ① 前回の協議に基づく募集要領を作成すること。
- ② 事務手続きについては事務局に一任する。
- ③ パンフレットの作成方法についても事務局に一任する。
- ④ 賛助金の振込用紙には教誨師の名前を入れるようにする。
- ⑤ 会員規程を早期に作成し、賛助会員とすること。

## 7 広報委員会

	回数	日程	人数		回数	日程	人数
1	第9回	H28.4.4 月	14人	6	第14回	H28.11.1 火	12人
2	第10回	H28.5.6 金	10人	7	第15回	H29.1.19 木	10人
3	第11回	H28.7.21 木	9人	8	第16回	H29.3.3 金	11人
4	第12回	H28.8.31 水	10人	9			
5	第13回	H28.10.12 水	10人	10			

## II 各種行事等への出席等

- 1 平成28年5月17日 舎奈田副理事長が法務省大会議室で行われた、春の褒章伝達式に参列した。
- 2 平成28年6月20日 龍田事務長がシュラトン都ホテル東京において開催された日蓮宗教誨師会50周年大会に出席した。
- 3 平成28年8月26日 平野参与が天理教本部において行われた天理教教誨師大会に出席した。
- 4 平成28年10月5日 舎奈田副理事長が仏教伝道会館で行われた仏教伝道文化賞受賞式に参列した。
- 5 平成28年11月15日 舎奈田副理事長が法務省大会議室で行われた、秋の褒章伝達式に参列した。
- 6 平成28年11月24日 石川副理事長、龍田事務長が真宗大谷派報恩講に参拝した。
- 7 平成28年12月2日 龍田事務長、佐藤主事が東京管区連盟課題別研修会に参列した。

- 8 平成 29 年 1 月 5 日 舎奈田副理事長、龍田事務長が矯正協会賀詞交換会  
に出席した。
- 9 平成 29 年 1 月 6 日 舎奈田副理事長、石川副理事長、山根副理事長、龍  
田事務長が寄付募金活動の一環として経団連等へ新年あいさつ回りを行っ  
た。
- 10 平成 29 年 1 月 14 日 石川副理事長、龍田事務長が浄土真宗本願寺派報  
恩講に参拝した。
- 11 平成 29 年 2 月 2 日 舎奈田副理事長が矯正研修所で高等科研修生に対し  
教誨師活動に関する講義を行った。
- 12 平成 29 年 3 月 30 日 築地本願寺で行われた沼田顧問の葬儀に山田・平野  
参与、舎奈田・中川・石川・山根副理事長、龍田事務長が参列した。

### Ⅲ 財団法人 JKA の競輪公益資金補助事業関係

- 1 平成 28 年 4 月 1 日 平成 28 年度分補助金額内示  
3, 364, 000 円
- 2 平成 28 年 5 月 1 日 平成 28 年度分補助金交付申請書提出  
3, 364, 000 円
- 3 平成 28 年 5 月 20 日 平成 28 年度分補助金交付決定通知  
3, 364, 000 円
- 4 平成 28 年 9 月 14 日 平成 29 年度分補助金要望書提出  
12, 033, 000 円
- 5 平成 28 年 10 月 17 日 平成 28 年度事業の状況に関する報告書提出
- 6 平成 29 年 2 月 14 日 平成 28 年度分補助金精算払申請書提出  
2, 796, 377 円
- 7 平成 29 年 3 月 2 日 平成 28 年度分補助金の入金  
2, 796, 377 円
- 8 平成 29 年 3 月 3 日 平成 28 年度分補助金を各管区へ送金
- 9 平成 28 年 3 月 15 日 平成 28 年度分補助事業の完了報告書提出
- 10 平成 29 年 4 月 7 日 平成 28 年度分補助事業の補助金の額の確定通知  
2, 796, 377 円

#### IV その他

- 平成 28 年 6 月 29 日 内閣府に平成 27 年度分の「事業報告等に係る提出書」を電子申請により提出した。
- 平成 28 年 7 月 7 日 内閣府に「役員等に対する報酬支給に関する変更届出書」を電子申請により提出した。
- 平成 28 年 8 月 22 日 内閣府に「役員等の任期満了に伴う変更届出書」を電子申請により提出した。
- 平成 29 年 3 月 30 日 内閣府に平成 28 年度分の「事業計画等に係る提出書」を電子申請により提出した。